

◆市民からの提案書の反映に向けた施策について

盛岡かわまちづくり計画(案)	かわまちづくり北上川ワークショップ(三川合流地点～明治橋下流)からの提案	反映に向けた施策(案)
<p><b>1. ひと・かわ・まちの連携の再構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) かわでの市民活動の促進</li> <li>2) かわの魅力を伝える情報発信</li> <li>3) 多様な参画の仕組みづくり</li> <li>4) イベントによる利用機会提供</li> </ul> <p><b>2. かわとまちの自然環境の保全・活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5) 自然環境保全の推進</li> <li>6) かわを学べる水辺空間づくり</li> <li>7) 河道内樹林の適正な管理</li> <li>8) 河道内の植栽・管理体制づくり</li> </ul> <p><b>3. かわまちの歴史・景観の保全・活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>9) まちの歴史を活かした水辺づくり</li> <li>10) 橋詰・橋上の視点場づくり</li> <li>11) 街並みと調和した護岸補修・整備</li> <li>12) 景観保全・形成の実施体制づくり</li> </ul> <p><b>4. かわとまちを結ぶ連携空間の創出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>13) 水辺の遊歩道の整備</li> <li>14) まちと川とを結ぶアクセス整備</li> <li>15) 河川利用拠点の整備</li> <li>16) サインシステムの設置</li> <li>17) 川とまちの連携空間の創出</li> </ul>	<p>■提案1(ひと・かわ・まちの連携)</p> <p>①多様な参画に向けた仕組みづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北上川が盛岡市民のふるさとの川として、子供が遊べる場、お花見、観光スポットとなるよう多様な利用が行える川づくりを望みます。</li> <li>・<u>鉈屋町・大慈寺町のまちづくりと連携</u>して、かわとまちの活動の場が広がることを望みます。</li> </ul> <p>②水辺・水面利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カヌーの利用や屋形船を浮かべるなどの水辺・水面利用を図り、かつての舟運の歴史が感じられる川づくりを望みます。</li> </ul> <p>■提案2(かわとまちの自然環境の保全・活用)</p> <p>③自然環境の保全・活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性に配慮した川づくりを基本として、工事をする場合は<u>現状の生物の生息環境の保全に配慮</u>してください。</li> <li>・川岸に木陰になる木がほしい。桜並木の整備を望みます。</li> </ul> <p>④中州の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中州は大きくなりすぎているので、かつての流れを感じられるように<u>一部掘削、繁茂した樹林の伐採等の管理について適切な措置を講じてください</u>。</li> <li>・中州を保全する場合は、子供が安全に環境学習できる場として活用することを望みます。</li> </ul> <p>■提案3(かわとまちの歴史・景観資源の保全・活用)</p> <p>⑤新山河岸・新山舟橋の復元について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新山河岸は北上川の舟運の起点として歴史的な意義のある重要拠点であることから、<u>昔の面影を残すような整備を望みます</u>。</li> <li>・<u>新山船橋の再現を望みますが、イベントなどで渡れるような取り組みを検討</u>していきます。</li> <li>・現代版舟橋八景の設定を望みます。</li> </ul> <p>⑥歴史的街並みとの調和・連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉈屋町・大慈寺地区の歴史街並みづくりと連携し、盛岡市の観光資源として水辺と一体的なまちづくりを目指してください。</li> </ul> <p>⑦街並みと調和した護岸の補修(修景)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡の玄関口ふさわしく、<u>街並みとの調和に配慮</u>し、石張りではなく<u>石積護岸を望みます</u>。</li> <li>・<u>パラペットは、できるだけ低く、薄く</u>することで、堤防天端から北上川を望むことができるような構造を検討してください。</li> <li>・パラペットをコンクリートとした場合は、表面処理や色彩に配慮して、護岸との調和に努めてください。</li> </ul> <p>■提案4(かわとまちを結ぶ連携空間の創出)</p> <p>⑧まちと川を結ぶアクセスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・御蔵前付近にある<u>急勾配の階段を改良し、安全に水辺に降りられる階段の整備を望みます</u>。</li> <li>・堤防天端道路が狭く、また交通量も多いことから水辺に近づきにくいので、その解消について検討してください。</li> </ul> <p>⑨水辺の遊歩道について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>中津川から御蔵まで結ぶ遊歩道の整備を望みます</u>。その際、できる限りスロープにするなど、だれもが利用しやすい構造となるように検討してください。</li> </ul>	<p><b>1</b> 提案①、②、⑤、⑥への施策</p> <p><b>街なみ環境整備事業との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●現在事業中の街なみ環境整備事業に対し、「市民からの提案書」を提案し、まちづくりと一体となった川づくりの推進を図る。</li> <li>●盛岡市は市民とともに、まちづくりと連携した水辺・水面利用、新山河岸・新山舟橋の復元等の各種施策について、市民の多様な参画に向けた仕組みづくりの構築を図る。</li> <li>●河川管理者は、それらの要望を踏まえ、施策の実現に向けた支援を検討するものとする。</li> </ul> <p><b>2</b> 提案③、④への施策</p> <p><b>自然環境への配慮・中州について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民、専門家の意見を踏まえながら、北上川の良好な自然環境の保全・形成を基本とした川づくりを推進する。</li> <li>●中州は、地域の方と連携しながら、自然環境及び景観との調和に配慮し、繁茂した樹木の伐採等について検討する。</li> </ul> <p><b>3</b> 提案⑦への施策</p> <p><b>街並みと調和した護岸の維持・補修(修景)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●護岸の改修に伴い、盛岡の街並みに配慮し、自然石積護岸で整備及び修景とする。</li> <li>●パラペットは極力、現況の高さ、幅以上とならないように検討する。</li> </ul> <p><b>4</b> 提案⑧、⑨への施策</p> <p><b>まちと川を結ぶアクセス整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●既設散策路を活用し、適切な箇所に階段を設置し水辺の回遊性を図る</li> <li>●街なみ環境整備事業と連携し、街なみとのアクセス性の向上を図る</li> </ul>

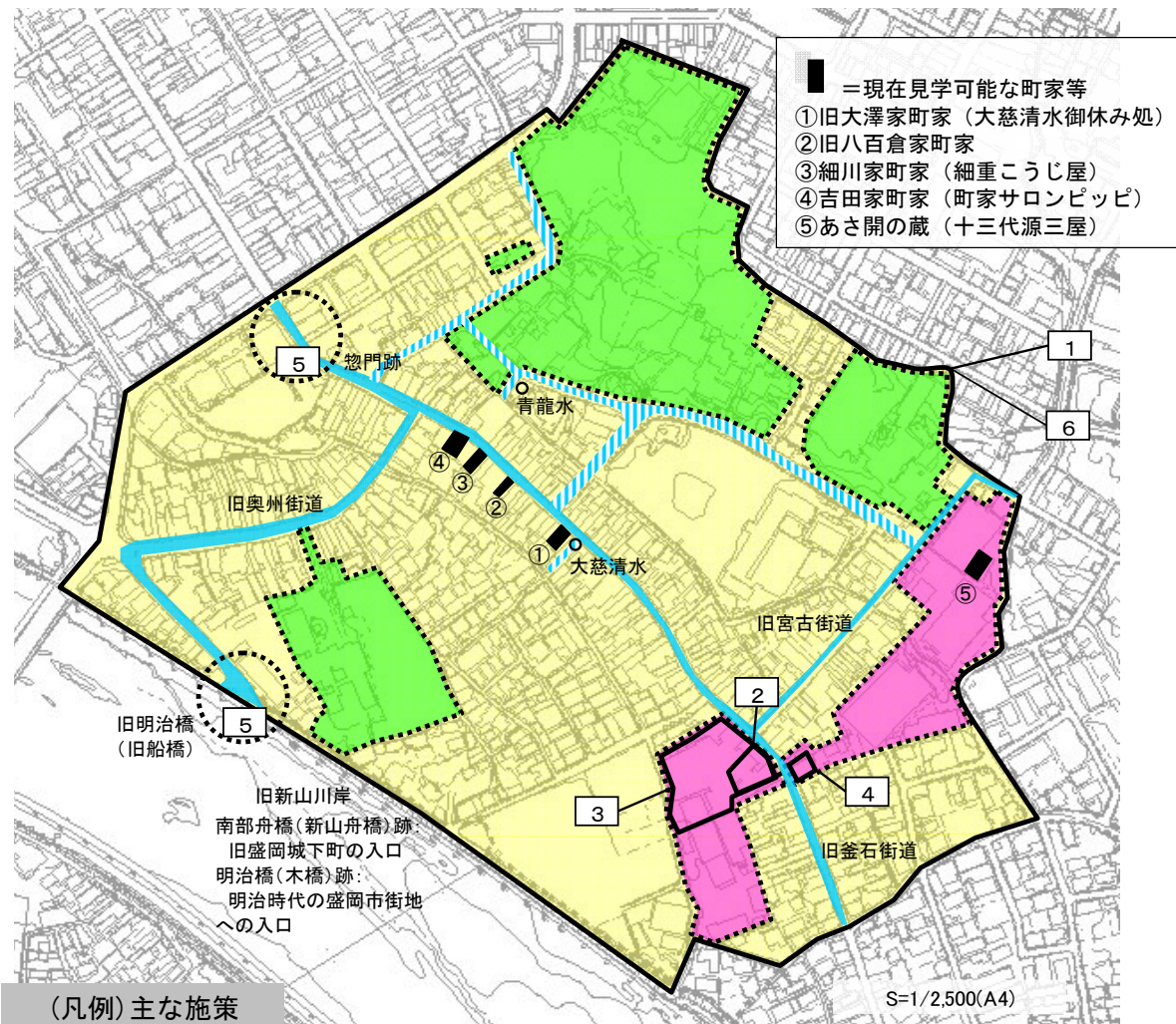
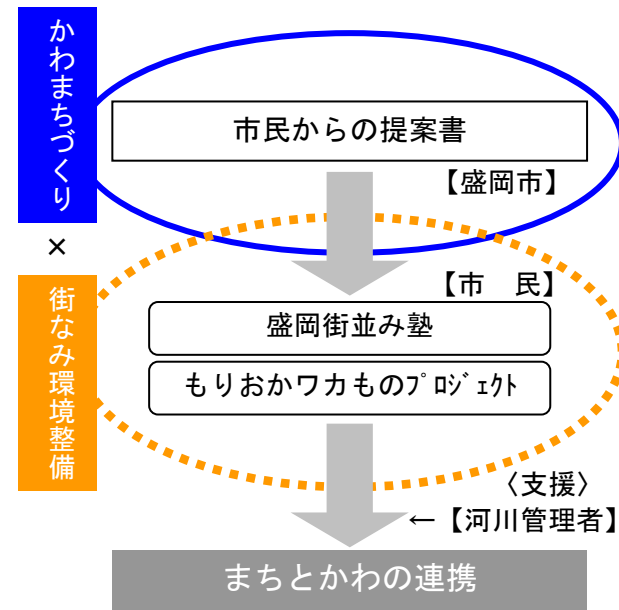
盛岡かわまちミュージアム

リーディングプラン：かわまちづくり事業の先導的役割を果たす施策

# 1 街なみ環境整備事業との連携

## 【施策の考え方】

- 現在事業中の街なみ環境整備事業に対し、「市民からの提案書」を提案し、まちづくりと一体となった川づくりの推進を図る。
- 盛岡市は市民とともに、まちづくりと連携した水辺・水面利用、新山河岸・新山舟橋の復元等の各種施策について、市民の多様な参画に向けた仕組づくりの構築を図る。
- 河川管理者は、それらの要望を踏まえ、施策の実現に向けた支援を検討するものとする。



- (凡例) 主な施策
- 案内板等 整備事業区域全域
  - ⑤ = 歩いて楽しむ都市観光の推進にあたって、地区に不足している、観光資源と休憩施設 (トイレ等を含む) 案内板を設置する。
  - = 旧街道 (奥州, 宮古, 釜石) の沿線街並みの建築物等の修景及び歩行者にやさしい道路整備と美装について検討する。

# 2 自然環境への配慮・中州について

## 【施策の考え方】

- 市民、専門家の意見を踏まえながら、北上川の良好な自然環境の保全・形成を基本とした川づくりを推進する。
- 中州は、地域の方と連携しながら、自然環境及び景観との調和に配慮し、繁茂した樹木の伐採等について検討する。



(参考：航空写真に見る中州の変化)

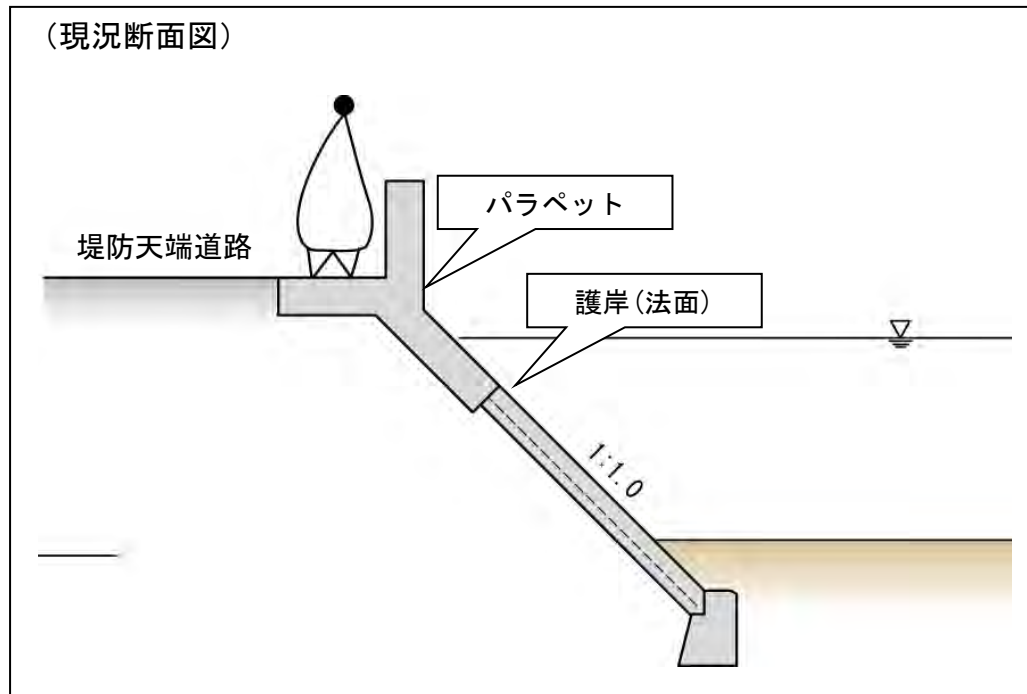
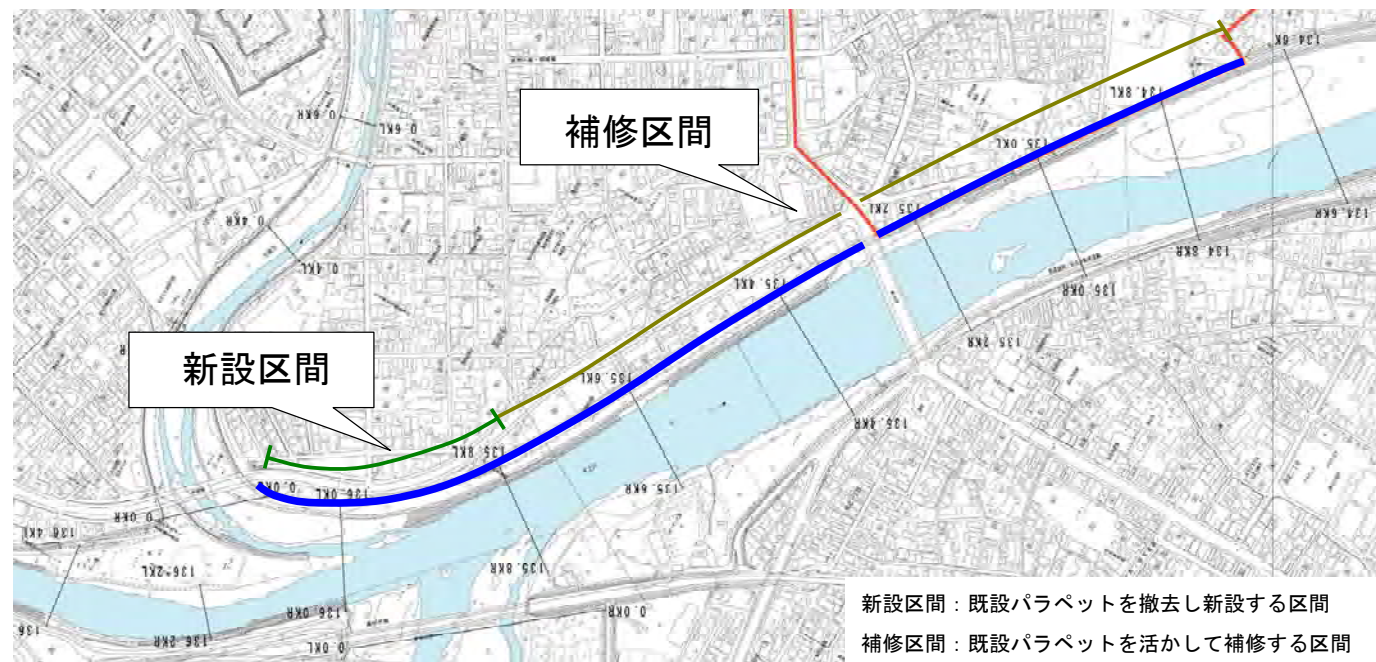


中州は確認できるが、現在の樹林は見られない。規模も現在に比べ小さい。

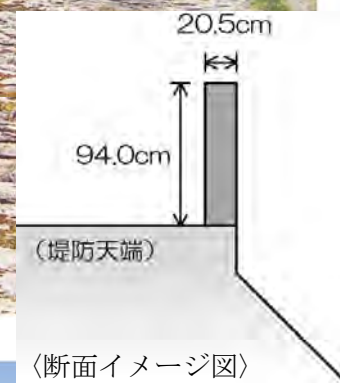


左岸に中州が固定化され、樹林も発達している。

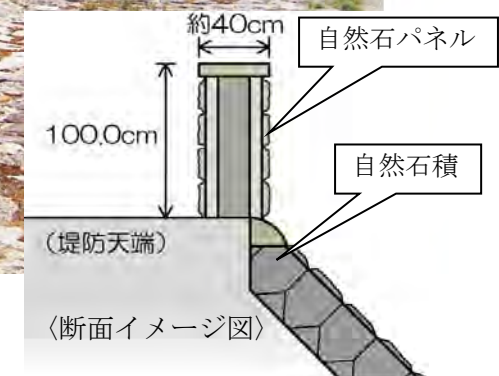
### 3 街並みと調和した護岸の維持・補修（修景）



### 〈現況〉



### 〈整備イメージ〉



■既設コンクリート護岸の人工的な印象から重厚感のある景観を形成する




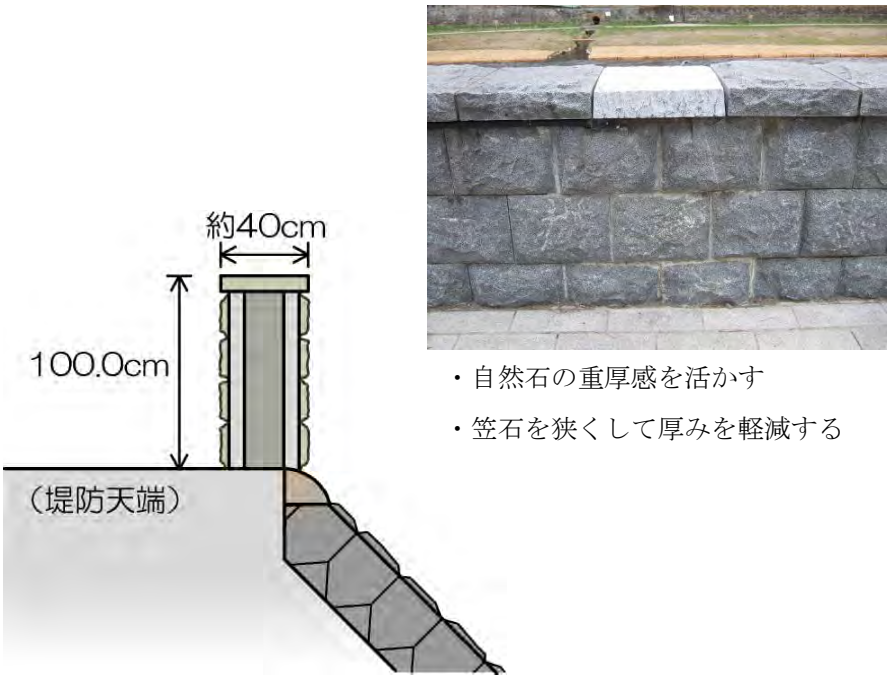
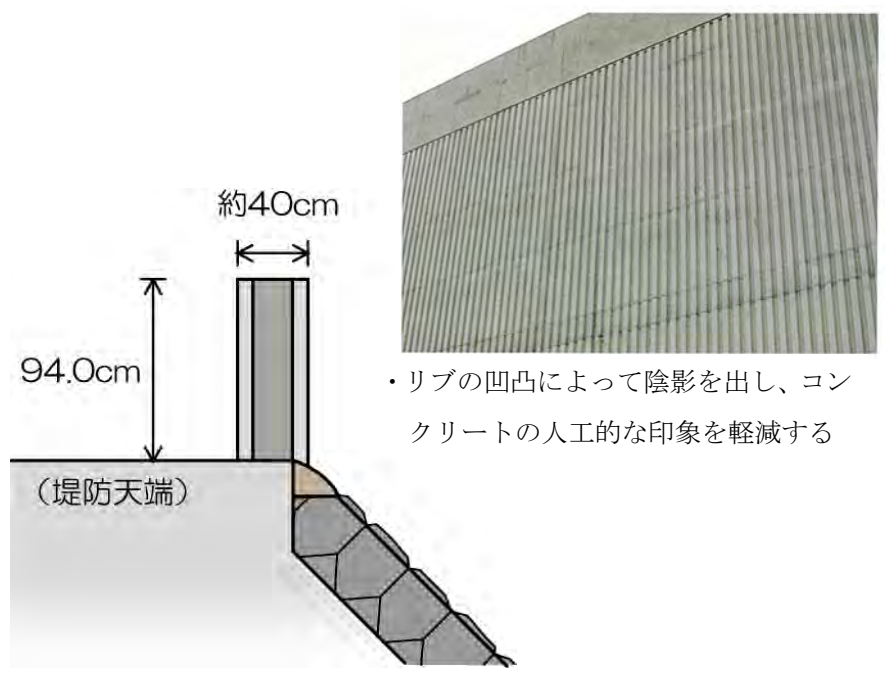
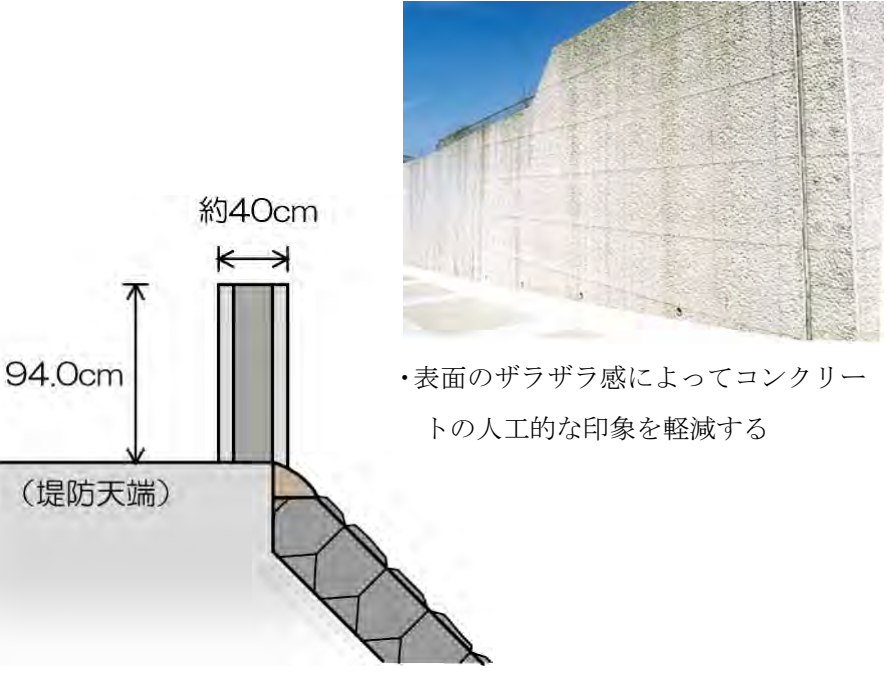
#### 【整備の基本的な考え方】




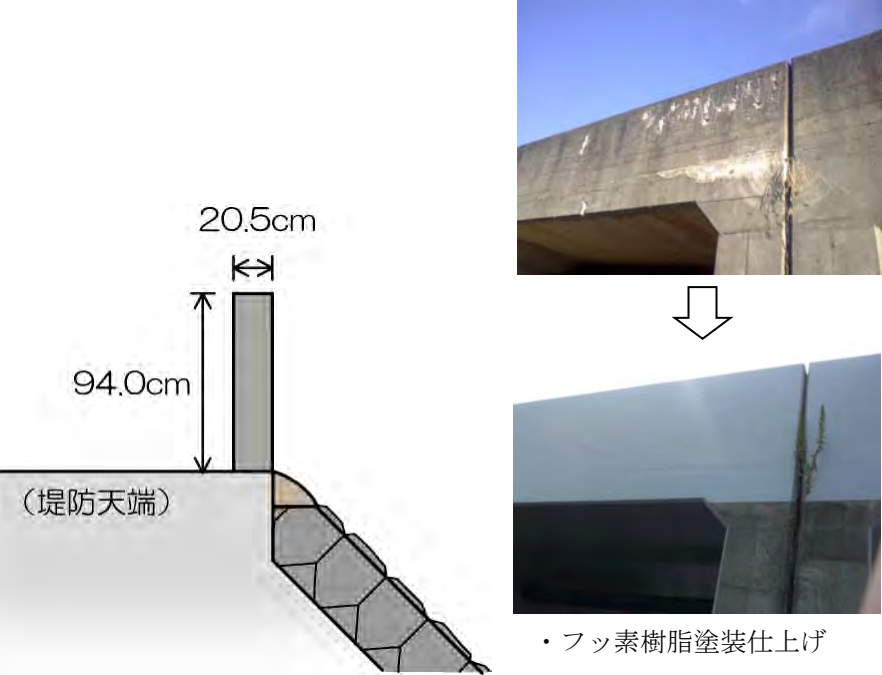
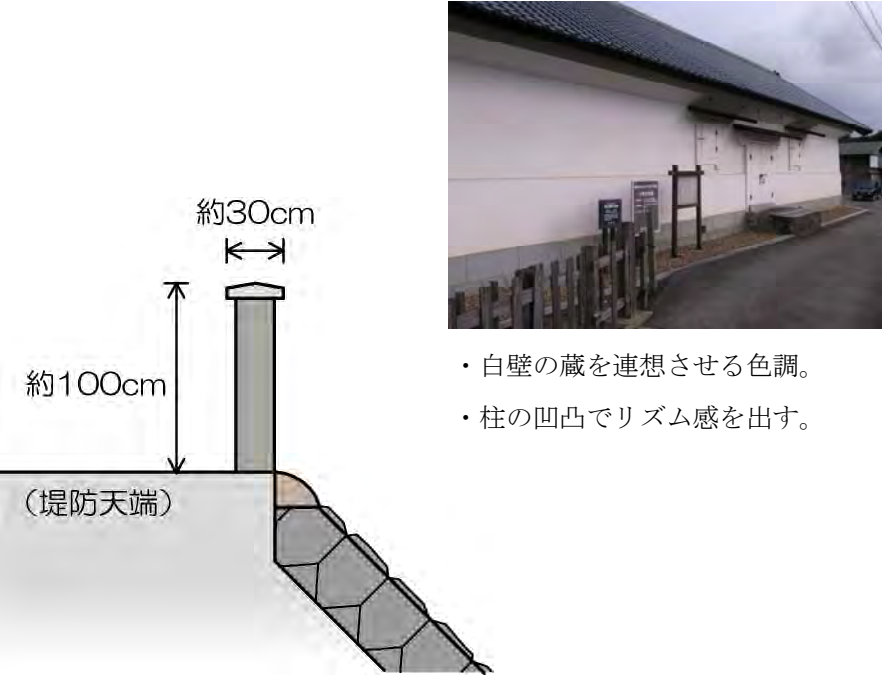
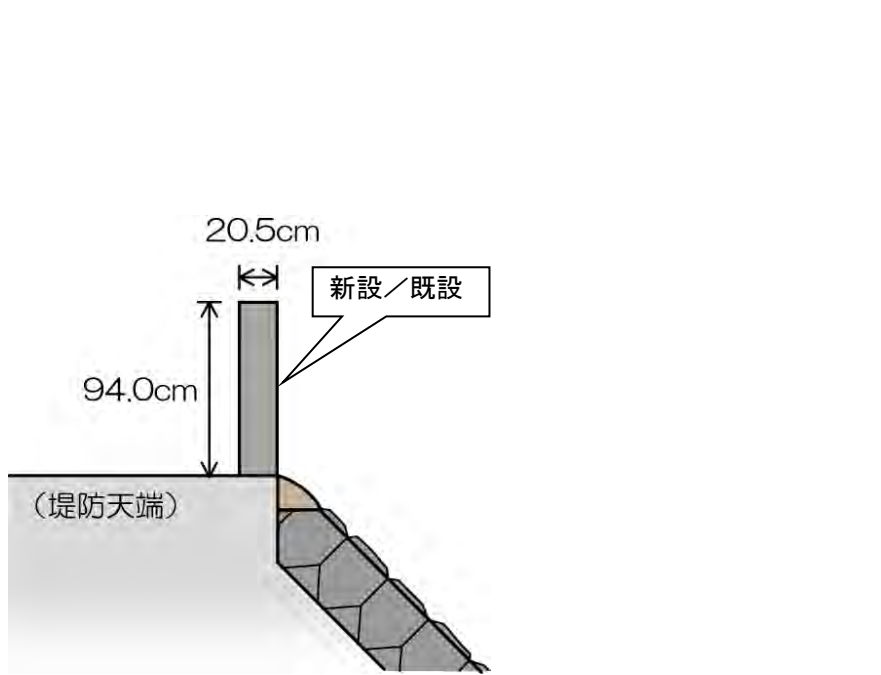
- 護岸の改修に伴い、盛岡の街並みに配慮し、自然石積護岸で整備及び修景とする。
- 既設護岸の勾配 1:1.0 より緩やかな勾配としないこととする。

#### 【パラペット補修(修景)の考え方】

- パラペットは極力、現況の高さ、幅以上にならないように検討する
- 自然石パネルを用いる場合は、厚さを極力薄くすることを基本とする。
- コンクリートとした場合も、護岸との調和に配慮する。

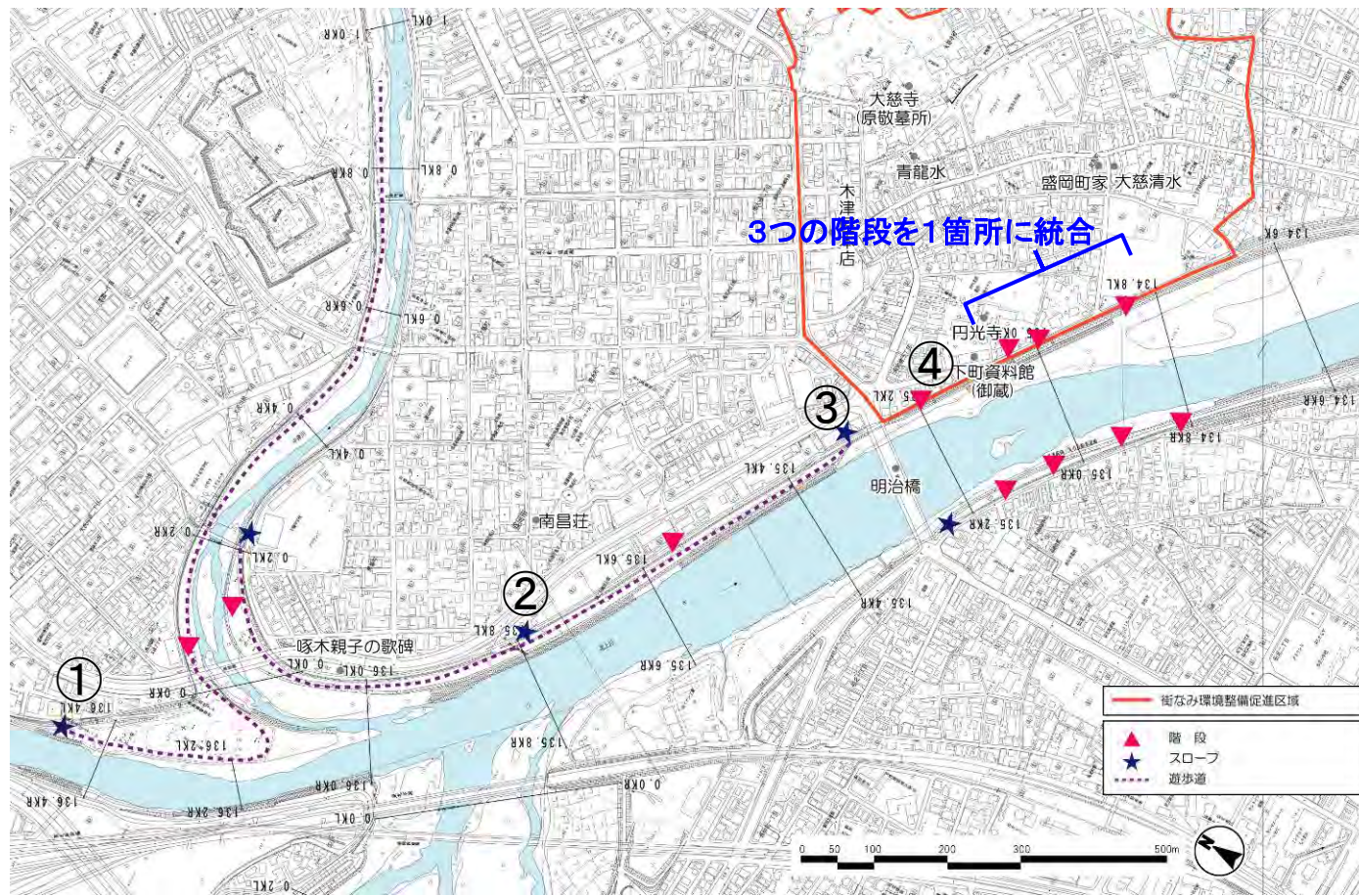
(参考：パラペットの修景比較例)

	A. 自然石パネル (有力案)	B-1. 化粧型枠 (リブ)	B-2. 化粧型枠 (ハツリ)
フォトモンタージュ			
	全て自然石で統一する	天端・柱以外に型枠を用いて表面の質感に変化を持たせる	天端・柱以外に型枠を用いて表面の質感に変化を持たせる
断面図・整備イメージ	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然石の重厚感を活かす</li> <li>・笠石を狭くして厚みを軽減する</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リブの凹凸によって陰影を出し、コンクリートの人工的な印象を軽減する</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・表面のザラザラ感によってコンクリートの人工的な印象を軽減する</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然石を全面に用いて、落ち着いた風合い、歴史的な印象を強調する。</li> <li>○護岸の自然石との調和を図るが、石張り（自然石パネル）の人工的印象は残る。</li> <li>○他案に比べ最も高価であるが、老朽化による不自然な変化がないため、メンテは不要。</li> <li>○石積み護岸と同等の石材を用いることが求められる。</li> <li>○他案に比較して、高さが増す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○化粧型枠により長大なコンクリート壁面の人工的印象を軽減する。</li> <li>○型枠(リブ)部と、型枠を用いない天端部、及び柱部のコンクリート壁面のコントラストがリズム感を与える。</li> <li>○Aに比べ安価であるが、老朽化による欠け、剥離に対応したメンテナンスが必要と想定される。</li> <li>○石積み護岸との調和の面で劣る。</li> </ul>	
	概算工事費 50,000 円/㎡	概算工事費 15,000 円/㎡	概算工事費 15,000 円/㎡

	C-1. 塗装（グレー系または透明）	C-2. 塗装（白壁）	修景なし
フォトモニタージュ			
	柱と天端の凹凸を活かし、塗装ののっぺり感を軽減させる	石積み護岸とのコントラストを強調させる	護岸とパラペットは独立した構造体とする
断面図・整備イメージ	 <p>20.5cm 94.0cm (堤防天端) ・フッ素樹脂塗装仕上げ</p>	 <p>約30cm 約100cm (堤防天端) ・白壁の蔵を連想させる色調。 ・柱の凹凸でリズム感を出す。</p>	 <p>20.5cm 94.0cm (堤防天端) 新設/既設</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現状のパラペットの形状をそのまま維持する。</li> <li>○塗装ののっぺり感を軽減を図るため、コンクリート表面に柱等の凹凸をつける</li> <li>○A、Bに比べ、安っぽさはぬぐえない。(実際安価である)</li> <li>○コンクリート打ちっぱなしを見せる透明の塗装も考えられる。</li> <li>○石積み護岸との調和の面で劣る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○蔵をイメージさせる塗装とし、歴史的な印象を強調する。</li> <li>○笠石(自然石)を用いることで、重厚感を演出することも考えられる。</li> <li>○他の案に比較して、笠石分、高さが増す。</li> <li>○石積み護岸との調和の面で劣る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既設コンクリートに見られるエージング(老朽化して周辺に馴染む)効果を期待する。</li> <li>○新設と既設区間との相違が目立つ(馴染むまで時間がかかる)</li> <li>○石積み護岸との調和の面で劣る。</li> </ul>
	概算工事費 8,000円/m <sup>2</sup>	概算工事費 8,000円/m <sup>2</sup> + 笠石	概算工事費 0円/m <sup>2</sup>

## 4 まちと川を結ぶアクセス整備

〈断面イメージ図〉



① 三川合流地点のスロープ ② 三川合流～明治橋スロープ ③ 明治橋上流のスロープ ④ 明治橋下流の階段

### 【整備の基本的な考え方】

- 既設散策路を活用し、適切な箇所に階段を設置し水辺の回遊性を図る
  - 明治橋上流から明治橋下流(下町資料館(御蔵))まで管理用通路(散策路)を延伸整備し、御蔵付近に安全に水辺にアクセスできる階段(勾配: 1:2.0程度)を整備する。
- 街なみ環境整備事業と連携し、街なみとのアクセス性の向上を図る
  - 明治橋下流の3つの階段を統合して、階段を1箇所とし、その既設の急勾配階段を改良し、街並みとアクセスできる階段(勾配 1:2.0程度)を整備する。

### 明治橋上流



既設護岸の高低差は約 1.5m (上流方向を望む)



既設護岸により、安全に通行ができない (明治橋(下流方向)を望む)

### 明治橋下流階段(1)



既設護岸(階段)の勾配は 1:0.5 (高低差約 4 m)



既設階段は基本的に管理用の階段であり、一般利用者が安全に昇降できない

### 明治橋下流階段(2) 3箇所



既設道路に隣接しており、容易にアクセスできない(交通量が大きく危険)状況にある



既設階段を降りると発達した河畔林の中州

〈現況〉明治橋上流



〈整備イメージ〉



■ 既設散策路を延伸させ、急勾配の箇所を盛土して、誰もが利用しやすい散策路を整備する

〈現況〉明治橋下流階段



〈整備イメージ〉



■ 安全に水辺にアクセスできる階段(1:2)を整備する